

しさをのこり  
宍粟郡を巡る⑩  
「播磨国風土記」の世界  
宍粟の川

社寺や家庭で、節分の主役として活躍する鬼。古くは人々を守る神でしたが、仏教が浸透し、地獄で亡者を責めさいなむイメージが広がるにつれ、悪役として恐れられるようになりました。その鬼を退治した桃太郎は川を流れ下ってきた桃から、花咲爺さんの犬は香箱から生まれたと語られています。昔話の主人公は神霊の象徴ともいえ、川は神々の道として古代の人々に意識されていたようです。

風土記の宍粟郡の記述にも、いくつかの川が登場します。宍粟市域外では、女神の話で取り上げた安師里（姫路市安富町）の安師川の他、千種川上流域とされる柏野里を流れる伊奈加川が登場、葦原志許乎命と天日



▲岩上神社の巨石。同社の狛犬も狼

槍命がいなく馬に会ったことがその名の由来とされています。旧南光町三河地区（佐用町）の氏神、大森神社の祭神は川から流れてきたとされ、発見のきっかけは馬のいななく声でした。宍粟市域では、御形神社が鎮座する御方里に大内川・小内川・金内川がありま

▶「鮎友釣り発祥の地」の石碑が建つ、山崎町五十波の損保川



ならではの発想です。高家里の都太川は伊沢川の古名とされますが、その名の由来は不明。風土記で地名由来がわからない項目は、この川と神前郡の奈具佐山（福崎町七種山）だけです。その伊沢川の上流に鎮座するのが岩上神社。祭神の素戔鳴命にまつわる興味深い伝説が残されています。命はこの地の娘を愛したが、別れねばならなくなり、形見にと衣の片袖を裂いて娘に与えました。その片袖を神体として祀ったのが岩上神社だとか。お寺に「幽霊の片袖」という話が残されている例はあるのですが、神様の恋バナは珍しいといえましよう。

（播磨学研究所研究員 埴岡真弓）

おいでよ図書館へ  
宍粟市立図書館 ☎ 62-4620



読書会

毎月第2土曜日

午後1時30分～午後3時

毎月1冊の作品を読み、みんなで感想などを気軽に語り合います。いつでも見学・参加をお待ちしています！



今月の  
オススメ

はじめてのママでも作れる  
通園・通学グッズ

著者/Rick Rack 御苑あきこ  
生地選び方や型紙の写し方などの下準備から丁寧に説明しており、初心者でも分かりやすく簡単に作れるかわいい＆かっこいいアイテムばかりです。



著者/森永卓郎

自分で選んだ自治体に寄付をすれば、地方の特産品がもらえる、お得で楽しいふるさと納税の仕組みをやさしく解説。著者オススメの自治体紹介で宍粟市も載っています！

図書館カレンダー

□ 休館日 □ 館内整理日(休館)

【開館時間】午前10時～午後5時30分

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土     |
|----|----|----|----|----|----|-------|
|    |    |    |    |    |    | 13 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21    |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28    |
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7     |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14    |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21    |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28    |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |       |

編集  
後記

まだまだ寒い日が続きますね。今年は宍粟市南部でも1月1日に思わぬ積雪に見舞われました。雪景色。とてもきれいなのですが、寒さが苦手な私にとってはより寒く感じる日でした。

毎年「もう雪は降らない?」「この寒さはいつまで続くの?」「もう暖くなる?」と書いていても思わぬ時期に降ることもありますよね。その年によって雪がたくさん降る年、少ない年、スキー場が2つある宍粟市にとって雪はありがたい存在ですね。

石